華やかに姫君行列

垂井宿まつり「ためにゃん」も披露

江戸時代の宿場町のにぎわいを再現する中山道垂井宿まつり（実行委員会主催）が21日、垂井町垂井の中山道垂井宿通り一帯で行われ、約8千人が多彩な催しを楽しんだ。

メーンイベントは、皇女和宮が中山道を通って降嫁した様子をイメージした「姫君下向行列」で、関ケ原鉄砲隊による号砲で出発し、約60人が旧旅籠（はたご）長浜屋から約300メートルを練り歩いた。

和宮役に選ばれた大垣信用金庫垂井支店の下野由貴さんが、華やかな着物姿で登場。ほかの職員2人が女官を務め、不破中学校の生徒が腰元や毛槍奴（けやりやっこ）、長寿会が侍役を担った。

商工会によるバザーのほか、特設ステージでは劇や太鼓演奏もあり、町飲食店組合が考案した武将平塚為広をイメージしたキャラクター「たるいのためにゃん」のお披露目もあった。（佐名妙予）



和宮役の女性があでやかな衣装で練り歩いた「姫君下向行列」＝垂井町垂井



垂井宿まつりでお披露目された「たるいのためにゃん」＝垂井町垂井

無断複製・転載を禁じます